

イニシアティブ新設科目授業記録

開講科目名： インターンシップ実習

科目群名【 キャリア形成 】

担当教員名：中山 徹

開講学期・曜日・時限【 前期集中 】

4月14日(金) 全体ガイダンス

全体のガイダンスにおいて、インターンシップ実習先の募集をする。

4月19日(水) ガイダンス 12:15~13:00 E509

行政でのインターンシップ希望者があり、インターンシップ実習先行政・担当教員（今井範子）が、ガイダンスをおこなう（以下、今井が本記録を記載）。

行政でのインターンシップを希望する学生6名が出席。

- ①インターンシップについての説明
- ②選考についての説明

※希望者が実習先数を上回ったため選考を実施。

選考の資料として希望者に、下記2点を選考の資料として提出を求める。

1. インターンシップへの抱負と希望：A4用紙1枚形式自由
(どの課を志望するか、またその理由など)
2. 公務員に対する志望の程度：後日追加、担当教員宛にメール(4/26まで)
(公務員試験の受験希望の有無等)

上記資料をもとに、選考を担当教員とTAにより実施する。

5月3日(水)

選考結果を学生に通知。

7月上旬

インターンシップ実習の実施にあたり、学生・教員・実習先機関との間で日程など種々の調整。

奈良県に3名、奈良市に2名、各学生の受け入れ部課、実習課題、実習期間は以下のとおりである。

8月～9月 実習（実習日順）

1. 奈良女子大学大学院人間文化研究科人間環境学専攻住環境学コース1回生K学生

実習先：奈良県土木部都市計画課

実習先指導担当者：都市計画課 主幹

実習課題：「都市計画行政について」

実習期間：平成18年8月21日から平成18年9月1日

2. 奈良女子大学大学院人間文化研究科人間環境学専攻住環境学コース1回生F学生

実習先：奈良県土木部都市計画課

実習先指導担当者：都市計画課 主幹

実習課題：「都市計画行政について」

実習期間：平成18年8月21日から平成18年9月1日

3. 奈良女子大学大学院人間文化研究科人間環境学専攻住環境学コース1回生T学生

実習先：奈良市人事課、児童課、保育課

実習指導担当者：人事課 係長、 児童課 課長補佐、 保育課 課長補佐

実習課題：「児童・保育等福祉に関すること」

実習期間：平成18年8月28日から9月8日

4. 奈良女子大学大学院人間文化研究科国際社会文化学専攻1回生N学生

実習先：奈良市人事課、文化振興課、観光課

実習先指導担当者：人事課 係長、 文化振興課 課長補佐、観光課 課長補佐

実習課題：「観光行政に関すること」

実習期間：平成18年8月28日から9月8日

5. 奈良女子大学大学院人間文化研究科人間環境学専攻住環境学コース1回生T学生

実習先：奈良県企画部観光交流局観光課

実習先指導担当者：観光課 課長補佐

実習課題：「観光行政について」

実習期間：平成18年9月4日から平成18年9月15日

選考後から終了までの記録（7月～11月）**【実習先：奈良県】**

7月中旬

「協定書」「誓約書」等を奈良県人事課インターンシップ担当者へ送付

8/1

奈良県人事課担当者より、「協定書」および「インターンシップ受け入れ承諾書」受け取り

8/11

K 学生と F 学生が奈良県土木部都市計画課の指導担当者とインターンシップ実習についての打ち合わせ

8月下旬から9月中旬

10日間（2週間）の実習

実習終了後、各学生が「インターンシップ報告書」を、都市計画課、観光課の指導担当者へ提出

9月下旬

各課指導担当者が記入した「インターンシップ評価書」の受け取り

11月

「インターンシップ実習」実習先行政・担当教員（今井）による成績評価

【実習先：奈良市】

7月中旬

「協定書」「誓約書」等を奈良市人事課事務能率係インターンシップ担当者へ送付

7月下旬

人事課インターンシップ担当者より「協定書」、「インターンシップ受け入れ承諾書」および「受け入れ計画書」受け取り

8月28日から9月8日

10日間の実習

実習終了後、各学生が「インターンシップ報告書」を市長公室人事課担当者へ送付

10月中旬

児童課、保育課、文化振興課の指導担当者が記入した「インターンシップ評価書」受け取り

11月

「インターンシップ実習」実習先行政・担当教員（今井）による成績評価

自己評価（インターンシップ実習先行政・担当教員）

今年度からの開講であり、実習先の確保が重要な課題となった。奈良県と奈良市において本教育プログラムに関連のある課にお願いし受け入れが可能となった。実習先機関長との「協定書」の手続きは、中山徹教員と住環境学コース事務補佐員によって行われた。詳細な実習先との調整については、住環境学科教務補佐員の支援をうけ、順調に学生、実習先との受け入れ日程等々の調整を進めることが出来た。学生との連携はTAの補助によって円滑に進めることができた。学生の「インターンシップ報告書」と実習先指導担当者による「インターンシップ評価書」から判断すると、本演習の成果が確認された。来年度も、改善策を踏まえて本実習に取り組みたい。